

熱転写方式カードプリンタPSC (PSC番号: AJ)

2002.8.29

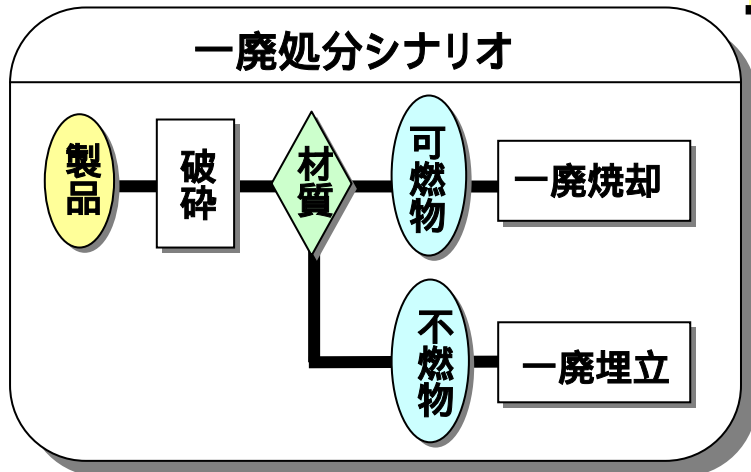
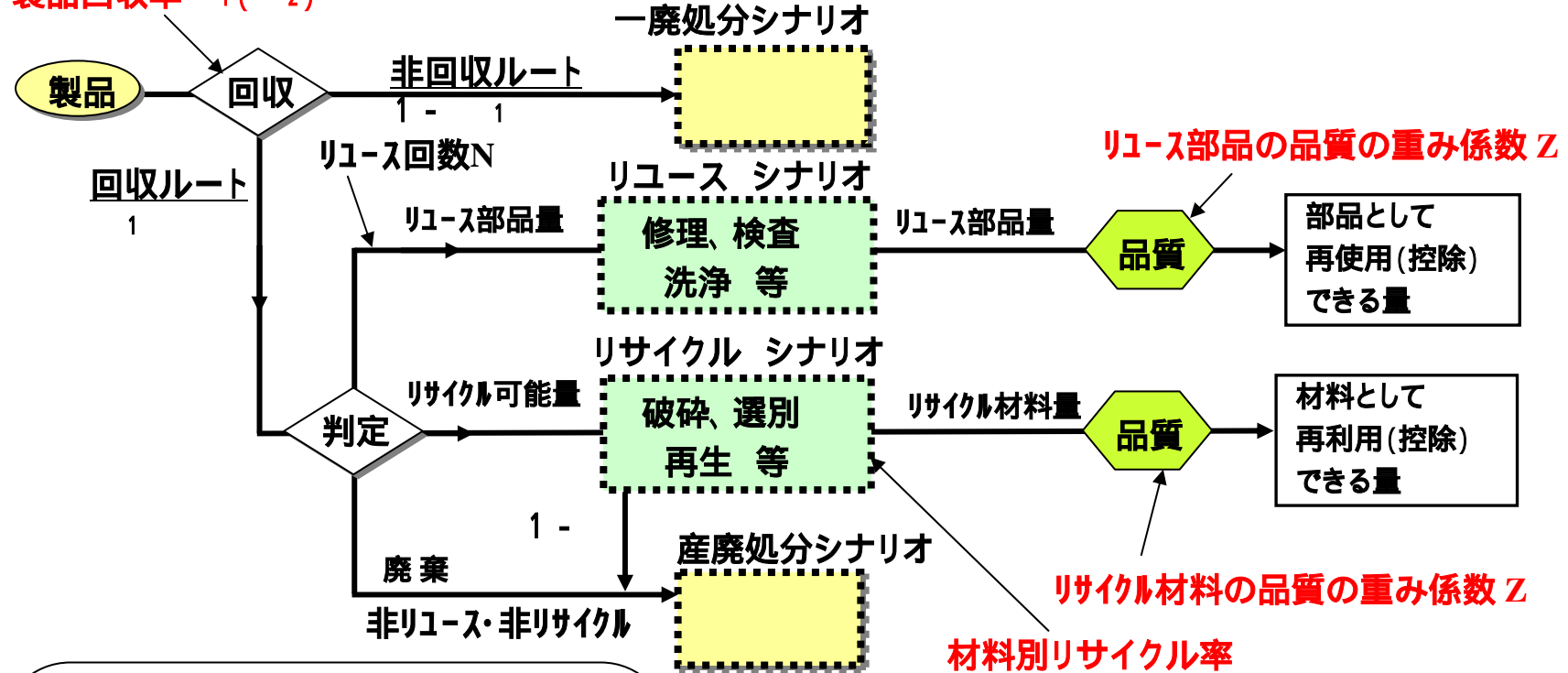
No.	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
1	PSC設定の前提	製品	定義	JIS X 6301、ISO7810適合のプラスチックカードを使用し、昇華型熱転写方式、溶融型熱転写方式で印刷するカードプリンタとする。
2			範囲	付属品は次の範囲とする。 ・インクリボン ・機能を果たすための付属品として、フロッピーディスク又はCD-ROM等で提供されるプリンタアプリケーションソフト、ドライバソフト ・全ての梱包材 ・マニュアル類
3			ステージ	範囲
4	製品データシート(LCI入力データ)	製造ステージ情報(製品情報)	製品材料または原料構成	1)資源投入量は製品となった段階の材料質量とし、製品質量の90%以上の材料を種類別に分類、残りは比例配分して100%換算する。 2)製品データシートに記載する材料名は、"普通鋼、SUS、アルミニウム、その他金属、熱可塑性樹脂、熱硬化性樹脂、ゴム、ガラス、紙、半導体基板、木材"の11項目とする。この11項目以外のものは原単位名を記載する。
5			製造ステージ情報(製造サイト情報)	投入・消費・排出される物質とエネルギー
6		物流ステージ情報	製品の輸送条件	1)ユーザーまでの輸送手段、積載率は、申請各社が設定するモデルに基づくこととする。 2)総輸送距離(使用場所までの輸送)は、500kmとして算定することとする。海外から国内への製品輸送負荷は計上しない。 3)本体包装の廃棄・リサイクルは、No.8の『廃棄・リサイクル』に入れる。
7			使用ステージ情報	製品の使用条件
8		廃棄・リサイクルステージ情報	製品の廃棄・リサイクル条件	1)シナリオの設定 別紙「使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ」を採用する。 1. 回収ルートは、各社で輸送を含むシナリオを設定。 ・リユースシナリオ ・リサイクルシナリオ 材料別リサイクル率(%)は、各社で設定する。 ・非リユース/非リサイクルの産廃処理シナリオ 2. 非回収ルートは、「一廃処理シナリオ」(別紙参照)を採用。 2)控除のシナリオ 別紙「使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ」を採用。 3)リサイクル・リユース可能性の判定基準 判定基準は各社で個別に定める。 4)製品回収率(消耗品や交換部品の"部品回収率"も同一とする)は、各社の実績値(%)とする。 5)製品のリユースの場合 各社の設計値に基づき、使用期間5年を過ぎてリユースする回数 N_1 を設定する。 N_1 は整数とする。 また負荷の計算は、上記 N_1 を使って、 部品リユースの控除量 = "各社の設計時点で計画したリユース可能量" × "製品回収率 α " × "リユース控除率 $N_1/(N_1 + 1)$ "

No.	大項目	中項目	小項目	取り決め事項
8	製品データシート(LCI 入力データ)	廃棄・リサイクルステ ージ情報	製品の廃棄・リ サイクル条件	6)消耗品や交換部品の場合 対象品の寿命の中でのリユース回数を N_2 、5年間ででの使用回数 n とし、端数は切り上げ て整数とする。また負荷の計算は、上記 N_2 及び n を使って、 部品負荷 = " 部品1個の製造までの負荷 " × " 5年間ででの使用回数(n) " 部品リユースの控除量 = " 各社の設計時点で計画したリユース可能量 " × " 部品回収率 $\frac{2}{2} \times$ " リユース控除率 $\frac{N_2}{(N_2 + 1)}$ " × 5年間ででの使用回数(N) " 7)リサイクル、リユースされずに廃棄される製品又は部品の処理負荷の具体的計上方法 別紙「使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ」を採用。 8)リサイクル材料、リユース部品の品質の重み係数 別紙「使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ」を採用。 1. リユース部品の場合・・・ $Z = 1$ 2. リサイクルの場合 金属・・・ $Z = 0.5$ その他・・・ $Z = 0.35$
9	製品環境情報開示 シート(PEIDS)	インベントリ分析	LCI計算	生産サイトの実測データが無い場合の組立負荷は、 製品質量×2×組立原単位 とする。 インクリボンの負荷は、下記の式に基づき算出する。 「ベースフィルムの質量」×(「ベースフィルムの材質に該当する原単位」+「イン ジェクション成形加工原単位」)+「インクの質量」×(「インク類原単位」+「イン ジェクション成形加工原単位」) なおインクの質量には、保護層も含む。
10		インパクト評価	カテゴリ追加	PEIDSには「オゾン層破壊」、「富栄養化」、「光化学オキシダント」の項目を含まな
11	内訳データシート(製 品データシート関連)	データ加工	アロケーション	統一せず、各社で適宜決定する。
12		データ収集	収集範囲	データを把握できない場合は、設計時又は計画時の条件を含むデータ(含む原単位)で代 用しても良い。
13			カットオフル ール	インクリボンについては、カットオフを適用しない。その他の組立負荷等についてカッ トオフを適用する場合は、その旨を明記し、かつその理由を明確にする。
14	内訳データシート (PEIDS関連)	データベース	原単位デー タベースの選定	1. 各社が決めた購入部品の組み立てについては、原単位『部品組立』を採用。 2. モータの部品製造については、原単位『中型モータ』を採用。 3. サーマルヘッドの発熱体及び基板部の部品製造は、原単位『実装回路基板』を採 用。また放熱板の素材は原単位『A1板』を採用。 4. 実装回路基板の放熱板の素材は、原単位『A1板』を採用。またトランスの部品製 造は、原単位『中型モータ』を採用。 5. インクリボンのベースフィルムの加工は、原単位『インジェクション成形加工』を 採用。またインクの部品製造は、原単位『インク類』を採用。インクリボンの加工は原 単位『インジェクション成形加工』を採用。
15			原単位デー タベースの追加	なし。
16			特性化係数の追 加	なし。
17	製品環境情報	製品仕様		1)印刷速度 2)カードサイズ：JIS X 6301、ISO7810適合のプラスチックカード 3)検証対象となる機能(両面機能)
18		データ公開内容		1)記載項目 必須項目として規定(ガイドライン)されている『温暖化係数、酸性化負荷、エネルギー消 費量』を記載することとし、選択項目の7項目(ガイドライン)は記載自由とする。 2)対象ライフサイクルステージ 記載自由とする。 3)使用条件の設定 使用期間(年間)、使用量(万枚)を記載する。 4)表現方法 文章、表、グラフいずれも選択自由とする。 5)Eセクションの下に、上記No.9に基づきインクリボンの負荷算出の条件を明記する。
19	その他環境関連情報	選択記載項目		下記のものを記載できる。 1)タイプ および/またはタイプ の環境ラベル 2)ISO14001認証の取得 3)国または工業会等の認証・認定・表彰 4)有害物質



使用後製品の廃棄・リサイクルシナリオ

製品回収率 $1(2)$



用語の説明

- ・「製品回収率」: 使用済製品中の回収された製品数の比
- ・「リユース回数」: 部品単位のリユース回数
- ・「品質の重み係数」: リユース、リサイクルで控除可能な比率
- ・「材料別リサイクル率」: リサイクル工程での歩留まり率
- ・「可燃物」: プラスチック、ゴム、紙、木材
- ・「不燃物」: 可燃物以外の材料